

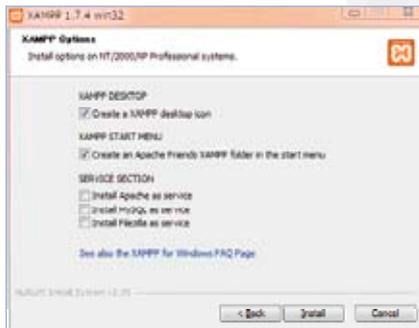
2

インストール

ダウンロードしたファイルをダブルクリックして、インストール作業を始めます。しばらくインストールソフト（図2）の指示に従ってインストールを進めると、図3のようなオプション設定画面が表示されます。



▲図2：インストール画面



▲図3：オプション設定画面

基本的には、標準の設定内容を変更しなくてかまいません。設定内容は次の通りです。

- Create a XAMPP desktop icon
デスクトップにXAMPPのショートアイコンが作成されます。
- Create an Apache Friends XAMPP folder in the start menu
スタートメニューの中に「Apache Friends」フォルダが作成され、XAMPPの各種ショートカットが作成されます。
- Install Apache as service
- Install MySQL as service
- Install Filezilla as service
それぞれ、XAMPPで起動できるサーバー（Webサーバー、DBサーバー、FTPサーバー）を「サービス」として自動起動できるようにするかの設定です。

サービスとして起動すると、XAMPPのコントロールパネル（後述）などを起動しなくても、各サーバーを利用できるため便利ですが、その分メモリ領域などを食ってしまい、不要なときも起動してしまうため、頻繁に利用する予定がなければ、このチェックは入れない方が良いでしょう。

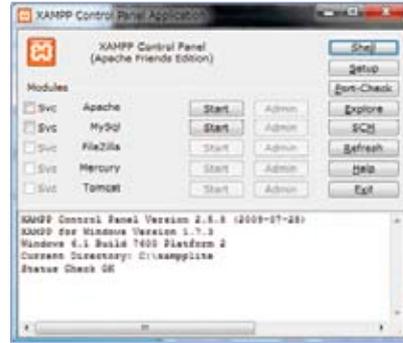
3

XAMPPを起動する

セットアップが終わると、図4のようなウィンドウが表示され、「XAMPP Control Panel」の起動をするかを聞かれます。XAMPP Control Panelとは、XAMPPを利用する際のメインとなるソフトウェアのことなので、ここでは「はい」をクリックして起動してみましょう。図5のようなウィンドウが表示されます。



▲図4：「XAMPP Control Panel」の起動確認画面

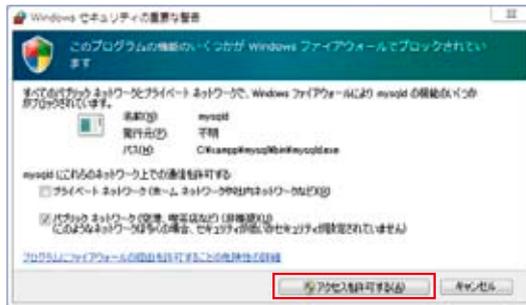


▲図5：XAMPP Control Panel

4

Apache、MySQLを起動する

起動したコントロールパネルには多くのボタンが並んでいますが、[Apache] [MySql]と書かれている2つの[Start]をクリックします。この時、Windowsのバージョンによっては、図6のような警告画面が表示されることがありますが、[アクセスを許可する]をクリックしてください。これで、XAMPPが起動します。



▲図6：警告画面

5

WordPressをセットアップする

これにより、今使っている環境が「Webサーバー」に変わります。インターネットの環境を必要とすることなく、安全にWordPressを試すことができるわけです。LESSON 01の手順に従って、自分のWebサーバーにWordPressをセットアップしてみましょう。この時、各環境は次のように読み替えてください。

- FTPサーバーでのアップロード作業とドキュメントルート
Webサーバーを必要としないため、FTPでのアップロードは必要ありません。その代わりに、次のフォルダにファイルをコピーします。
C:\xampp\htdocs